

発表事項

1 「支払基金における審査の一般的な取扱い（医科）」の公表（第6回）

2 令和3事業年度保健医療情報等の活用に関する取組に係る支払基金予算

(1) 保健医療情報会計収入支出予算

(2) 医療機関等情報化補助関係特別会計収入支出予算

3 令和3事業年度財政調整等特別会計予算

(1) 前期高齢者特別会計等予算

(2) 認可事業特別会計特別保健福祉事業費勘定予算

4 本部・支部総合監査結果報告（令和2年11月～令和3年2月実施分）

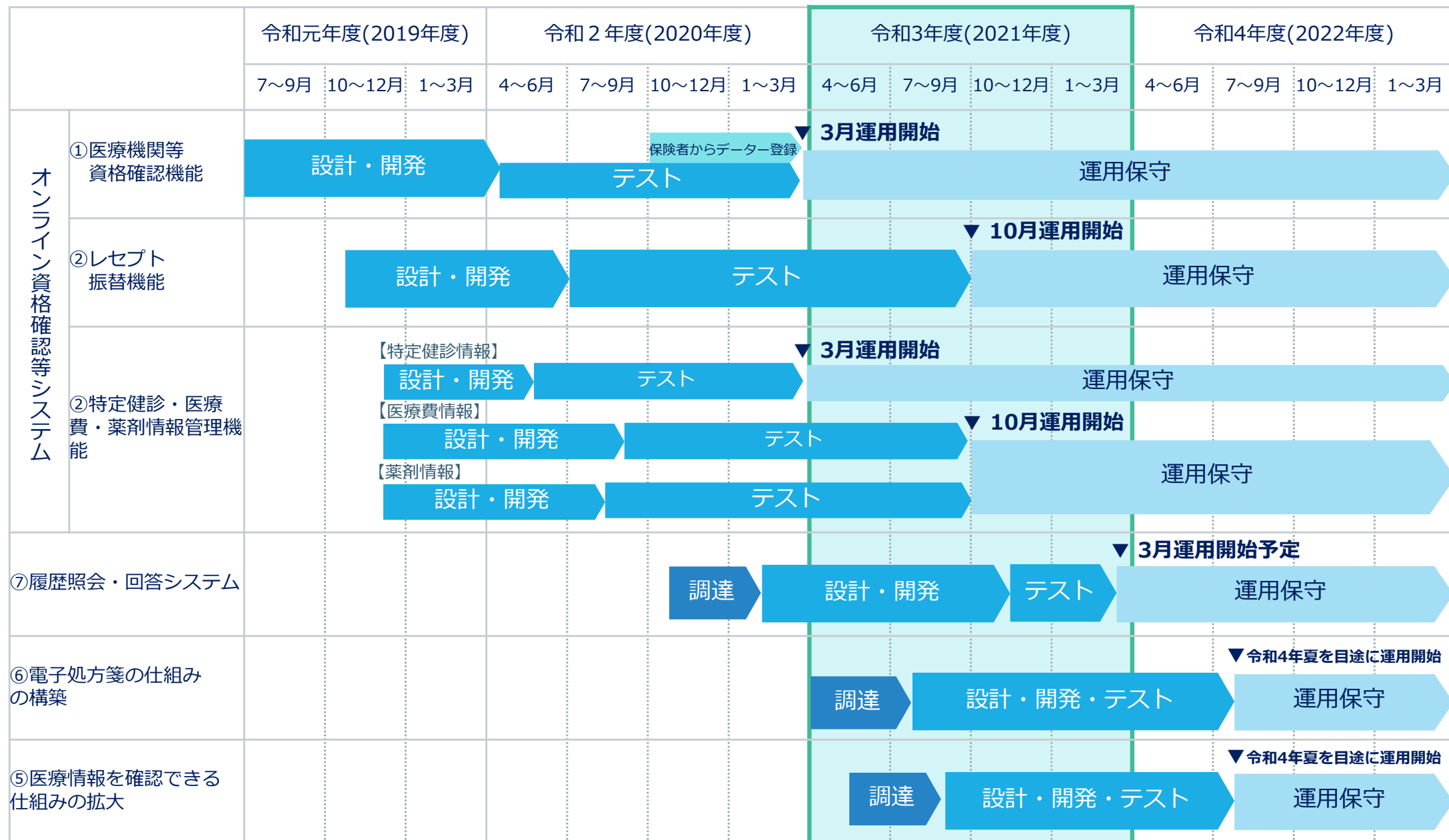
5 令和2事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計収入支出予算等の一部変更の認可

6 令和3年1月審査分の審査状況

7 令和3年3月審査分の特別審査委員会取扱状況

社会保障・税番号制度準備勘定 1/4

システム開発スケジュール(現時点での想定)



社会保障・税番号制度準備勘定 2/4

令和3年度システム開発概要

オンライン資格確認等システム：37.1億円 【②】
【レセプト振替機能及び医療費・薬剤情報管理機能（令和3年10月）】

加入者の資格情報の有効性を確認し、受診日・調剤日時点の資格情報に基づいてレセプト請求先を振替・分割する機能及び患者や医療機関等において医療費、薬剤情報等の経年データの閲覧機能を構築するため、令和2年度から引き続きテストを実施。

履歴照会・回答システム：5.8億円（令和4年3月） 【⑦】

個人単位の被保険者番号の履歴情報を活用し、医療保険レセプト情報等のデータベース（NDB）及び介護保険レセプト情報のデータベース（介護DB）等の連結精度を向上させる仕組みを構築するため、令和2年度から引き続きシステムの設計・開発・テストを実施。

電子処方箋の仕組みの構築：35.5億円（令和4年夏） 【⑥】

処方情報及び調剤情報を医療機関・薬局で共有することにより重複投薬の回避にも資する電子処方箋の仕組みを構築するため、システムの設計・開発・テストを実施。

医療情報を確認できる仕組みの拡大：9.7億円（令和4年夏） 【⑤】

患者及び全国の医療機関等で医療情報（薬剤情報に加えて、手術・移植や透析等の情報を拡大）を確認できる仕組みを構築するため、システムの設計・開発・テストを実施。

※ 括弧書きの時期については、運用開始予定を表しています。

社会保障・税番号制度準備勘定 3/4

単位：億円

収入

令和2事業年度
104.5

令和3事業年度
88.1

補助金収入

104.3

▲16.4

▲16.3

保健医療情報利活用
推進関連事業収入

0.1

▲0.1

雑収入

0.0

88.1

0.0

<補助金収入の内訳>

	①令和2 年度予算	②令和3 年度予算	差 (②-①)
社会保障・税番号制度システム 整備費補助金 (②オンライン資格確認等システム)	101.0	37.1	▲64.0
社会保障・税番号制度システム 整備費補助金 (⑦履歴照会・回答システム)	3.3	5.8	+2.5
社会保障・税番号制度システム 整備費補助金 (⑥電子処方箋の仕組みの構築)	-	35.5	+35.5
地域診療情報連携推進費補助金 (⑤医療情報を確認できる仕組みの拡大)	-	9.7	+9.7

社会保障・税番号制度
システム整備費補助金等 88.1 (▲16.3)

保健医療情報利活用推進関連事業収入 - (▲0.1)

※ 端数整理（四捨五入）の関係から、合計等が不一致となる場合があります。
また、括弧書きについては、前年度との差額を表しています。（以下この議事について同じ）

社会保障・税番号制度システム整備費補助金等のうち、オンライン資格確認等システムの運用開始に伴う開発経費の減により64.0億円減。履歴照会・回答システム（医療等分野における識別子(ID)の導入）の開発・改修は、2.5億円増。電子処方箋の仕組みの構築は、令和3年度からシステム等の構築を開始するため35.5億円増。地域診療情報連携推進費補助金については、令和3年度から手術・移植等の医療情報を確認できるシステム構築を開始するため9.7億円増。

社会保障・税番号制度準備勘定 4/4

単位：億円

支出

令和2事業年度
104.5

令和3事業年度
88.1

▲16.4



給与諸費

2.3

▲0.2

2.1

ポストの変更に伴う給与諸費の減
2.1 (▲0.2)

業務経費

102.0

▲16.0

86.0

・システム関連経費 83.9 (▲15.5)
・その他の経費 2.1 (▲0.5)
関係団体委託料の減

保健医療情報利活用
推進関連事業経費

0.1

▲0.1

0.0

0.0

<システム関連経費の内訳>

	①令和2 年度予算	②令和3 年度予算	差 (②-①)
②オンライン資格確認等システム	96.4	34.8	▲61.6
⑦履歴照会・回答システム	3.0	5.4	+2.4
⑥電子処方箋の仕組みの構築	—	34.5	+34.5
⑤医療情報を確認できる仕組みの拡大	—	9.2	+9.2

給与諸費については、ポストの変更に伴う減により0.2億円減。
業務経費については、開発・改修規模の縮小等により16.0億円減。

社会保障・税番号制度勘定 1/2

単位：億円

収入

令和2事業年度
19.9

令和3事業年度
24.6

+4.8

負担金収入

12.7

+1.4

14.1

受入金

7.2

+3.3

10.5

雑収入

0.0

0.0

運営負担金単価（円）の二期比較（加入者1人当たり月額）

<中間サーバー>

システム機器更新等経費積立預金からの受入金増による単価の減

	①令和2年度予算	②令和3年度予算	差（②-①）
協会けんぽ	1.37	0.29	▲1.08
健保組合	1.37	0.29	▲1.08
共済組合等	0.48	0.29	▲0.19

<オンライン資格確認等システム>

レセプト振替機能及び医療費・薬剤情報管理機能の稼働に伴う単価の増

	①令和2年度予算	②令和3年度予算	差（②-①）
協会けんぽ	1.10	1.22	+0.12
健保組合	1.10	1.22	+0.12
共済組合等	1.10	1.22	+0.12

協会けんぽ負担金収入	7.4 (+0.4)
健保組合負担金収入	5.2 (+0.0)
共済組合等負担金収入	1.5 (+1.0)

別途積立預金からの受入金	5.1 (▲2.0)
システム機器更新等経費積立預金からの受入金	5.4 (+5.4)

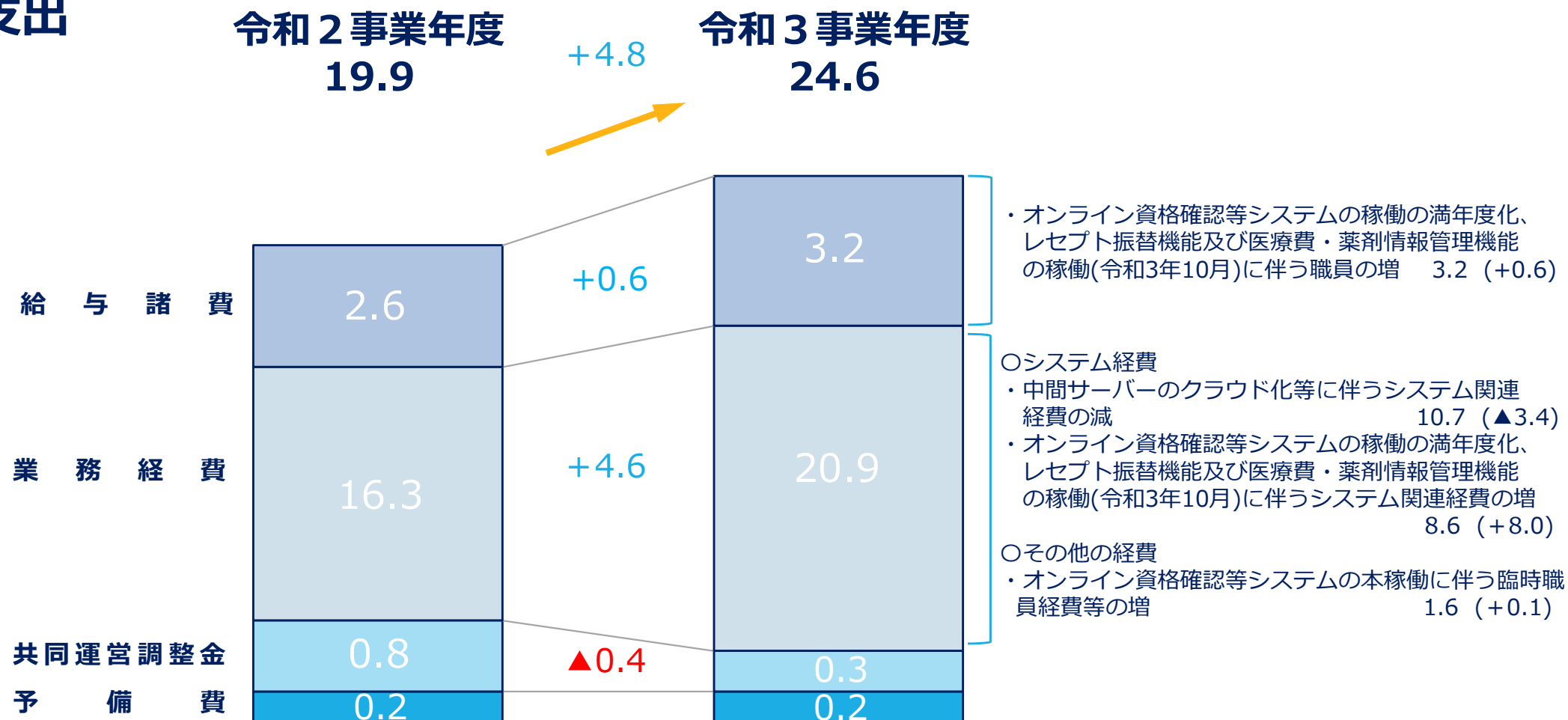
負担金収入については、オンライン資格確認等システムに係る運用経費の満年度化、レセプト振替機能及び医療費・薬剤情報管理機能の稼働(令和3年10月)に伴う必要経費の増等により1.4億円増の14.1億円。

受入金については、中間サーバーのクラウド化費用を国費で対応したため、積み立てていたシステム機器更新等経費積立預金を受入れたことにより3.3億円増の10.5億円。なお、当該積立預金については、令和8年度（6年間）までに全額を受入れる予定。

社会保障・税番号制度勘定 2/2

単位：億円

支出



給与諸費については、オンライン資格確認等システムの稼働の満年度化、レセプト振替機能及び医療費・薬剤情報管理機能の稼働(令和3年10月)に伴う職員の増により0.6億円増。

業務経費については、中間サーバーのクラウド化等に伴うシステム関連経費の縮減により3.4億円減、オンライン資格確認等システムの稼働の満年度化、レセプト振替機能及び医療費・薬剤情報管理機能の稼働(令和3年10月)に伴うシステム関連経費8.0億円増、オンライン資格確認等システムの本稼働に伴う臨時職員経費等の0.1億円増を含め4.6億円増。

(参考) 令和3年度 中間サーバー及びオン資格における必要経費の総額

医療保険情報提供等実施機関（支払基金及び国保中央会）における中間サーバー及びオン資格の運営に必要な経費は、約37.2億円

単位：億円（税込）

項番	費目	中間サーバー			オン資格			合計		
			支払基金	国保中央会		支払基金	国保中央会		支払基金	国保中央会
1	システム費用	13.2	9.6	3.6	11.6	7.3	4.4	24.9	16.9	8.0
2	その他業務費用	1.8	1.2	0.6	2.3	1.5	0.9	4.2	2.7	1.5
3	実施機関費用	3.8	2.4	1.4	4.4	2.7	1.7	8.2	5.1	3.1
計		18.9	13.2	5.7	18.3	11.4	6.9	37.2	24.6	12.6

注 数値は四捨五入した値を使用。四捨五入の関係により計等が不一致場合があります。

取扱 項番1 システム費用 中間サーバー及びオン資格における運用・保守費用、ネットワーク費用等
 項番2 その他業務費用 ヘルプデスク等における業務運用支援費用等
 項番3 実施機関費用 医療保険情報提供等実施機関を運用するための費用（人件費、賃料等）